



祝 鈴木 章先生, 根岸英一先生 ノーベル化学賞



鈴木 章先生



根岸英一先生

祝 辞

社団法人 日本化学会
会長 岩澤 康裕

鈴木 章先生（北海道大学名誉教授）、根岸英一先生（米国パデュー大学特別教授）の2010年ノーベル化学賞に心よりお祝いを申し上げます。

今年のノーベル化学賞は、鈴木先生、根岸先生とリチャード・ヘック米国デラウェア大学名誉教授の3人の研究業績「有機合成におけるパラジウム触媒クロスカップリング」に贈られます。有機分子の骨格である炭素-炭素結合を形成することができるクロスカップリング反応が開発されたことにより、医薬品、農薬、プラスチック、液晶材料、有機ELディスプレイなど、実に様々なたくさんの有機化合物の製造が可能になりました。ヘック反応-根岸カップリング反応-鈴木カップリング反応という一連の研究業績の流れは、3人の独立した“叡知の連携”と言えます。また、鈴木先生と根岸先生は、若いときに時期は違いますがブラウン教授（1979年ノーベル化学賞受賞者、米国パデュー大学）のもとで研究生生活を送っており、“知の循環”による偉大な業績とも言えます。知の循環、知の連携、価値観の多様性は基礎科学・技術創出とイノベーションのキーワードと言えます。

2000～2010年の最近、お二人を含めて6人の日本人（白川英樹先生、野依良治先生、田中耕一先生、下村 脩先生、鈴木 章先生、根岸英一先生）がノーベル化学賞を受賞し、わが国の化学の研究水準の高さを示しています。これらの研究が行われた当時の化学の強さの余韻のあるうちに、次代を担う若者が科学への憧れと夢を持てる研究教育環境へと継続して充実・強化することが望まれます。化学を志望する次代を担う若者が増えることを期待しています。